

# 感染症発生動向調査により届け出られた茨城県における梅毒の概要（2024年第3四半期）

茨城県感染症情報センター

茨城県感染症情報センターでは、2024年第1四半期より、感染症発生動向調査により届け出られた茨城県内における梅毒症例の動向について、四半期ごとに情報をまとめ還元しております。

第1四半期：第1週～13週（2024年1月1日～3月31日）

第2四半期：第14週～26週（2024年4月1日～6月30日）

**第3四半期：第27週～39週（2024年7月1日～9月29日）**

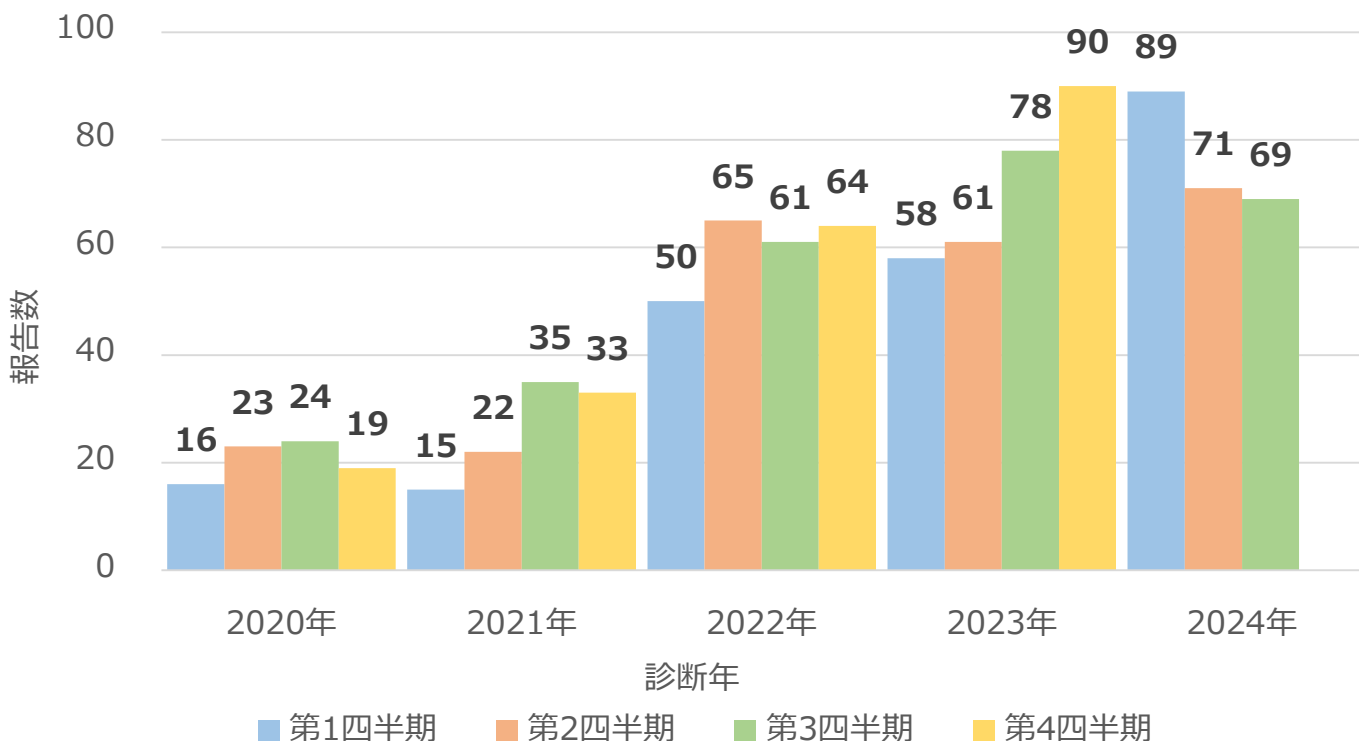
第4四半期：第40週～52週（2024年9月30日～12月29日）

※ 2024年10月15日時点のデータで集計しているため、遅れ報告は含まず

## 四半期別 梅毒報告数

- 2024年第3四半期の報告数は、2024年第2四半期から微減し、過去最多を記録した2023年の同時期の報告数より少なかった

茨城県内における四半期別 梅毒報告数（2020年～2024年第39週時点）



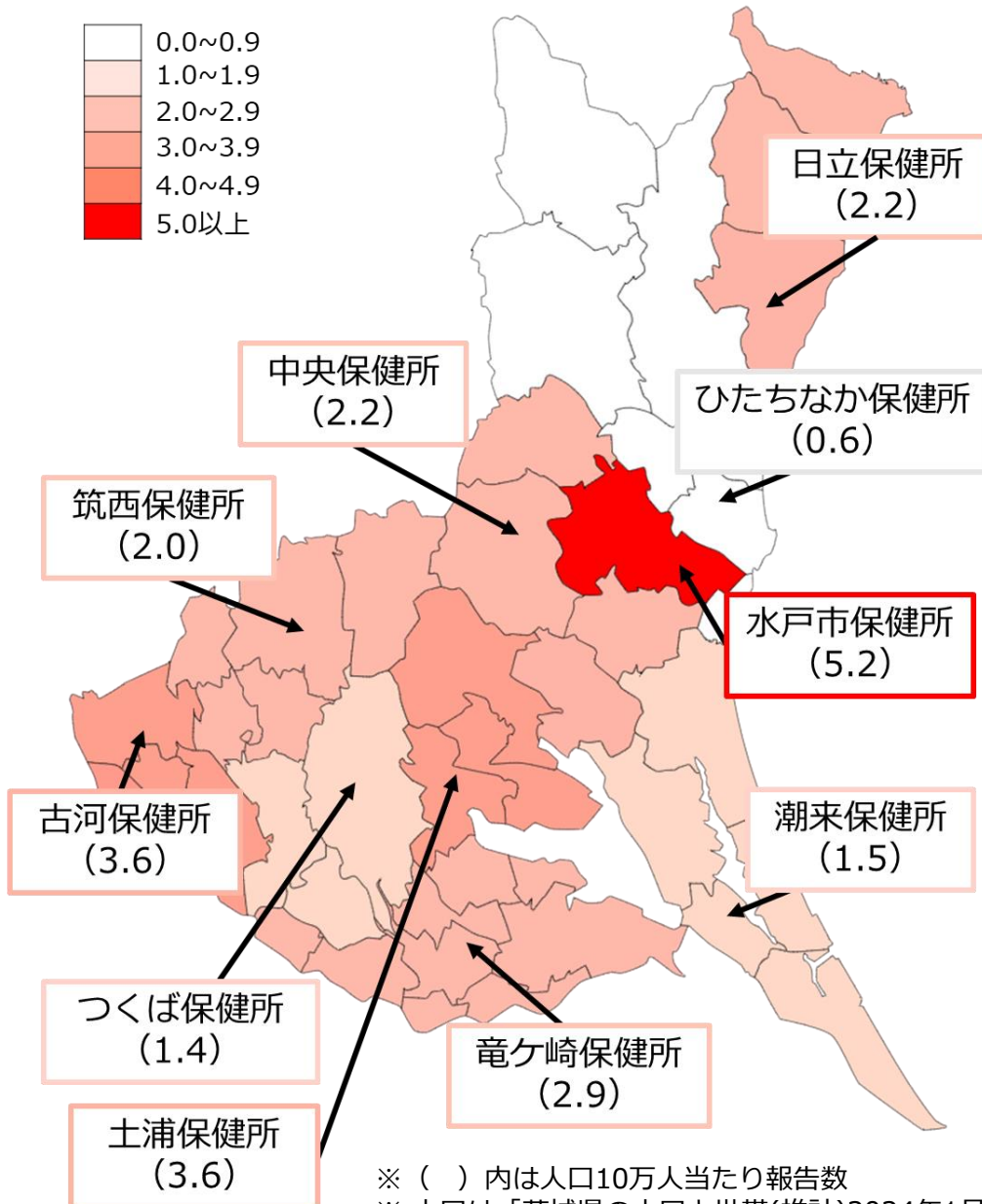
# 管轄保健所別 梅毒報告状況

- 管轄保健所別の梅毒報告数は、水戸市保健所が14例と最も多く、竜ヶ崎保健所（13例）、土浦保健所（9例）の順に多かった
- 人口10万人当たり報告数は、水戸市保健所が5.2と最も高く、土浦保健所（3.6）、古河保健所（3.6）の順に高かった

茨城県内における管轄保健所別 梅毒報告数（2024年第3四半期：7/1~9/29）

	中央	ひたちなか	日立	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	古河	水戸市	計
男	0	2	3	3	8	6	4	4	6	10	46
女	4	0	2	1	5	3	1	1	2	4	23
計	4	2	5	4	13	9	5	5	8	14	69

管轄保健所別 人口10万人当たり報告数（2024年第3四半期:7/1~9/29）



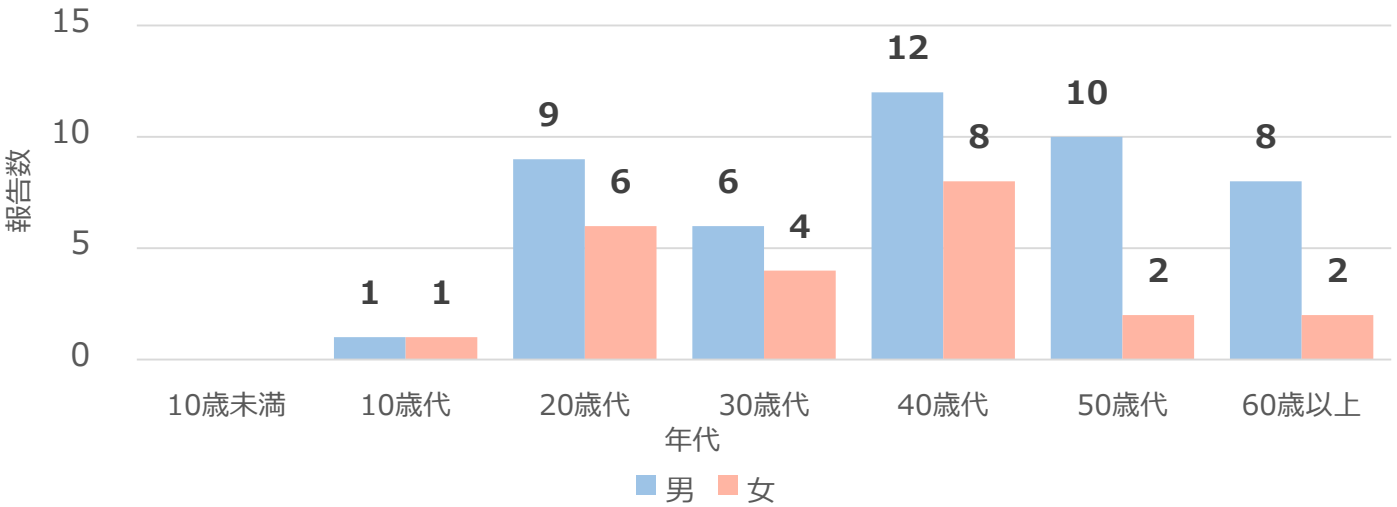
※ ( ) 内は人口10万人当たり報告数

※ 人口は「茨城県の人口と世帯(推計)2024年1月1日現在」を使用

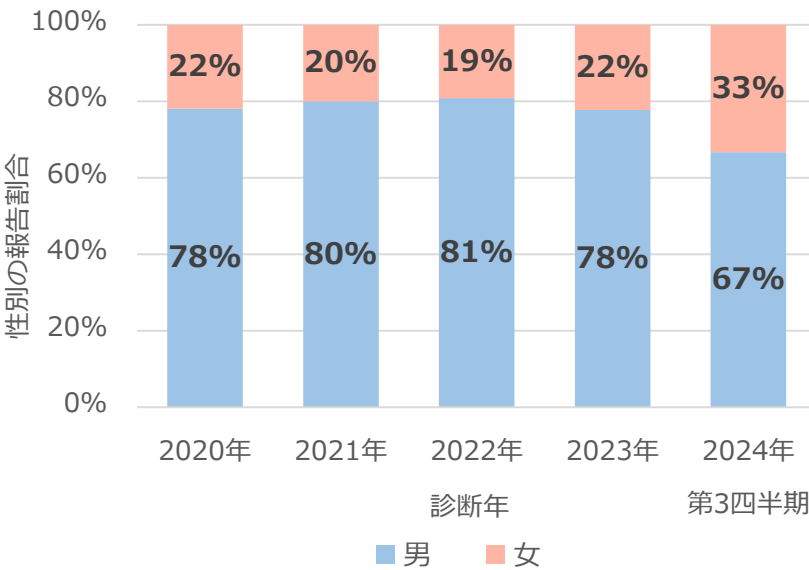
# 性別・年代別 梅毒報告状況

- 2024年第3四半期に報告のあった梅毒症例は、男性が67%（46例）女性が33%（23例）と男性に多かった
- 梅毒症例の年代は、40歳代が20例（29%）と最も多かった

茨城県内における性別・年代別 梅毒報告数（2024年第3四半期:7/1~9/29）



性別 梅毒報告割合（2020年～2024年）

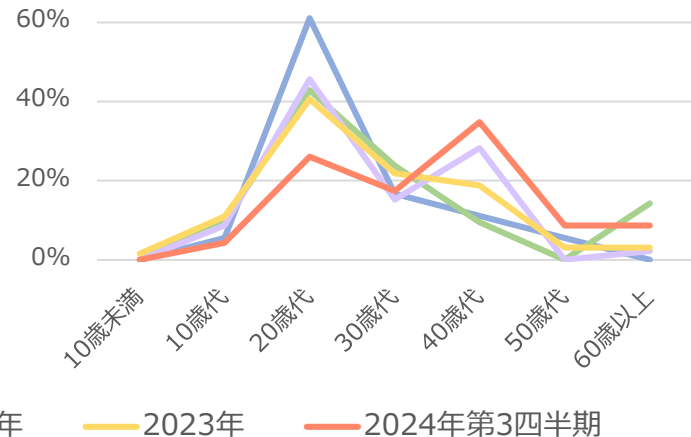
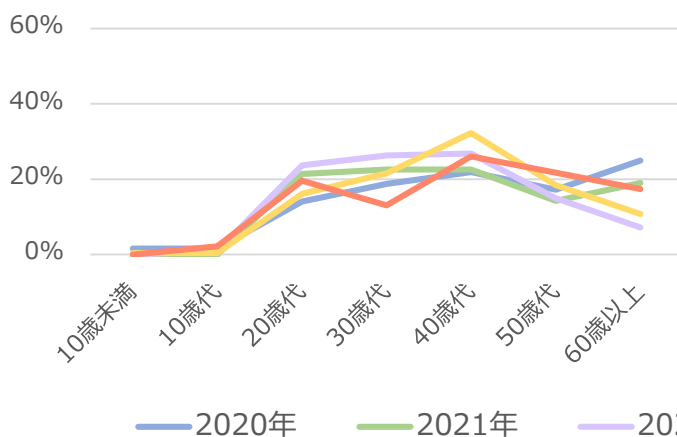


- 2024年第3四半期に報告のあった梅毒症例の女性の割合は、2020年以降、最も高かった
- 2024年第3四半期に報告のあった女性症例は、40~50歳代の割合が2020年以降、最も高かった

年代別 梅毒報告割合（2020年～2024年）

【男性】

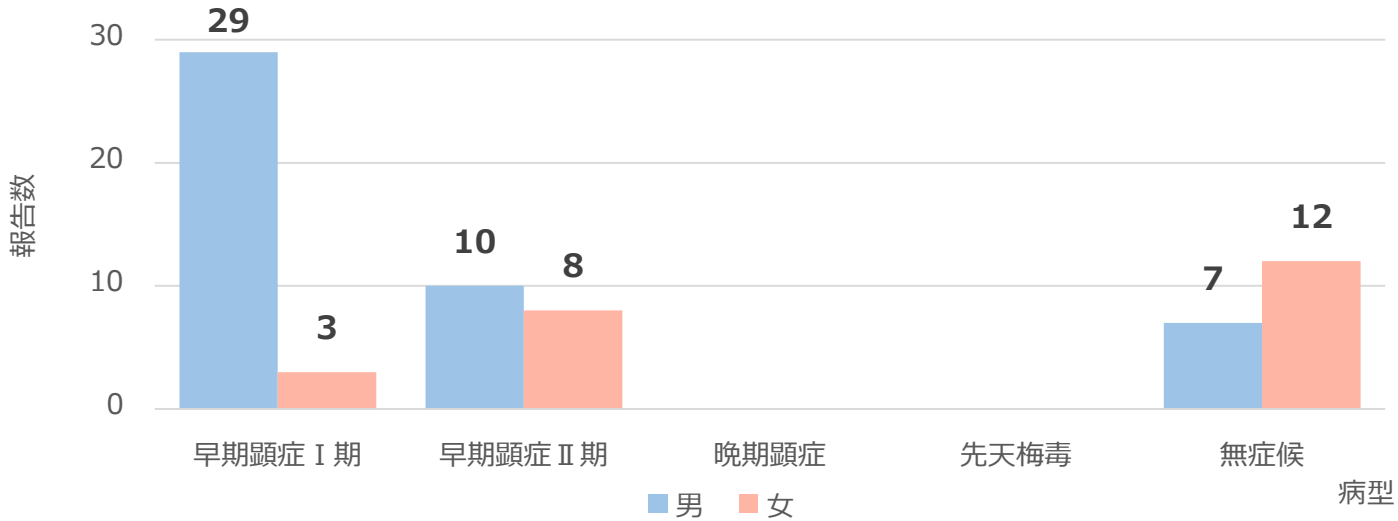
【女性】



# 病型別 梅毒報告状況

- 2024年第3四半期に報告のあった梅毒症例の病型は、男性は早期顕症Ⅰ期（63.0%）が多く、女性は無症候（52.2%）が多かった

茨城県内における性別・年代別 梅毒報告数（2024年第3四半期:7/1~9/29）



【男性】病型別 梅毒報告数（2024年第3四半期:7/1~9/29）

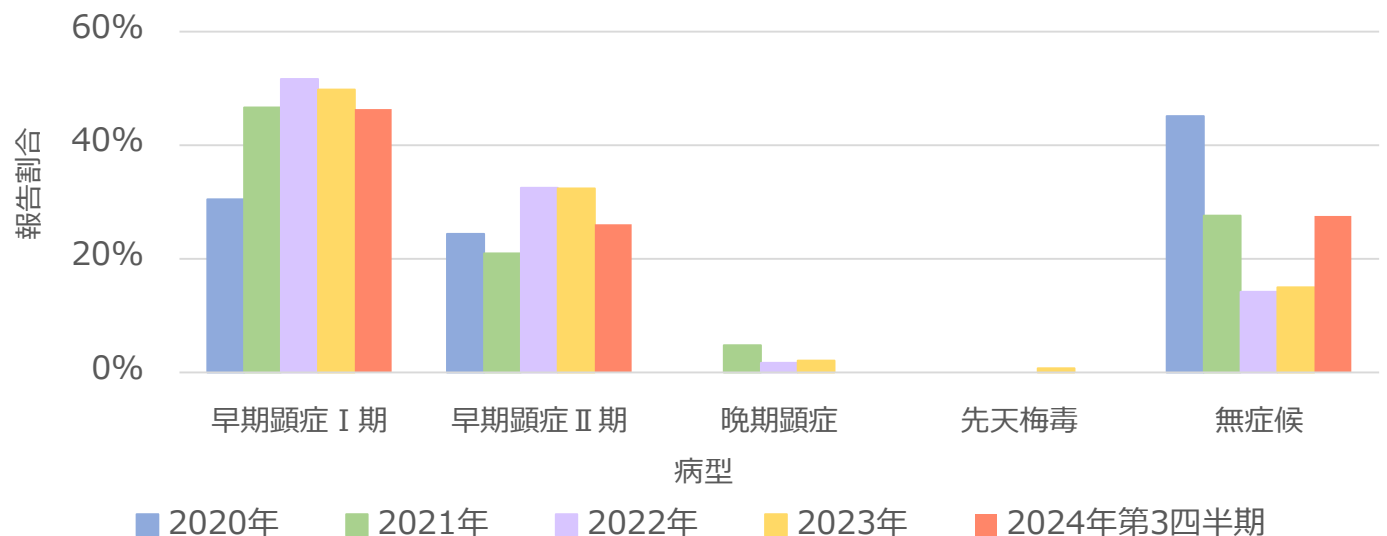
早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
29 ( 63.0%)	10 ( 21.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	7 ( 15.2%)	46

【女性】病型別 梅毒報告数（2024年第3四半期:7/1~9/29）

早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
3 ( 13.0%)	8 ( 34.8%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	12 ( 52.2%)	23

- 2024年第3四半期の報告は、早期顕症Ⅰ期・Ⅱ期の割合が減少し、無症候の割合が高くなった

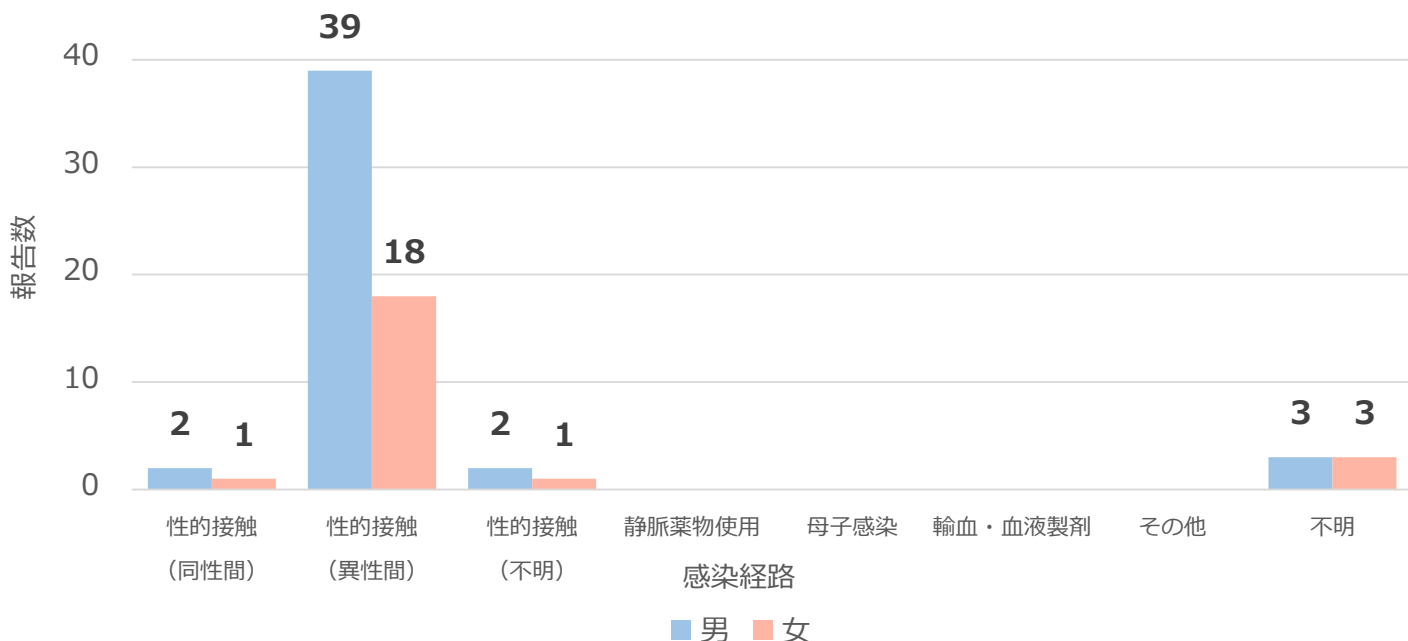
病型別 梅毒報告割合（2020年~2024年）



# 感染経路別 梅毒報告状況

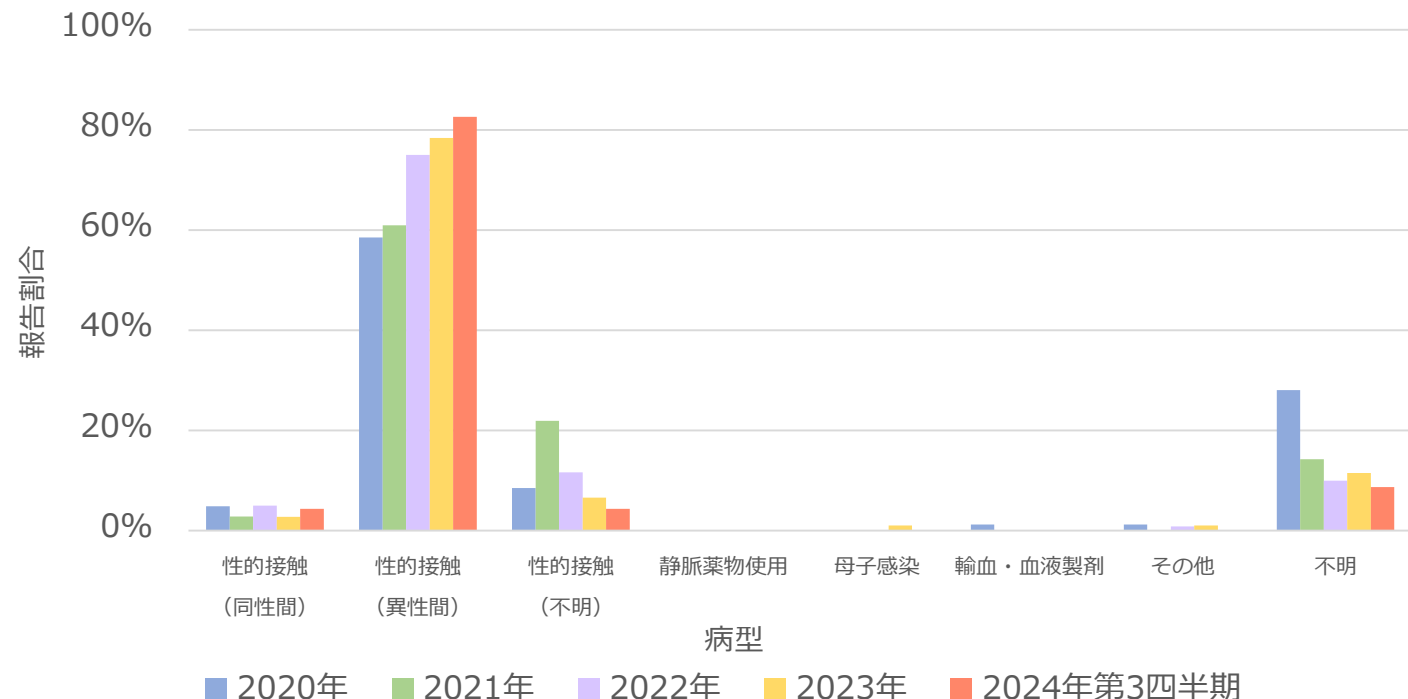
- 2024年第3四半期に報告のあった梅毒症例の感染経路は、男女ともに「異性間の性的接触」が最も多く、男性のうち2例・女性のうち1例は「同性間の性的接触」であった

茨城県内における感染経路別 梅毒報告数（2024年第3四半期:7/1~9/29）



- 過去4年間の感染経路別報告割合は、いずれの年も「異性間の性的接触」が最も高かった
- 2020年以降、「異性間の性的接触」の報告割合は、増加傾向にあり、2024年第3四半期は83%（57例）であった

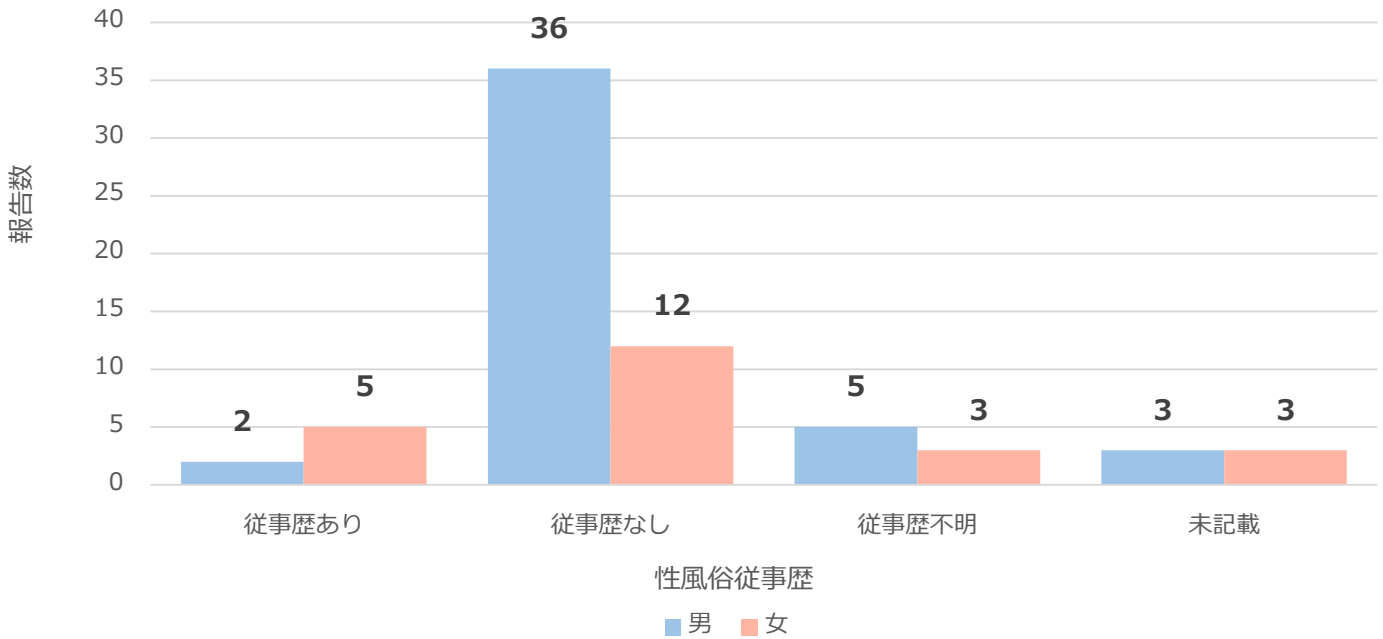
感染経路別 梅毒報告割合（2020年~2024年）



# 性風俗産業従事歴別 梅毒報告状況

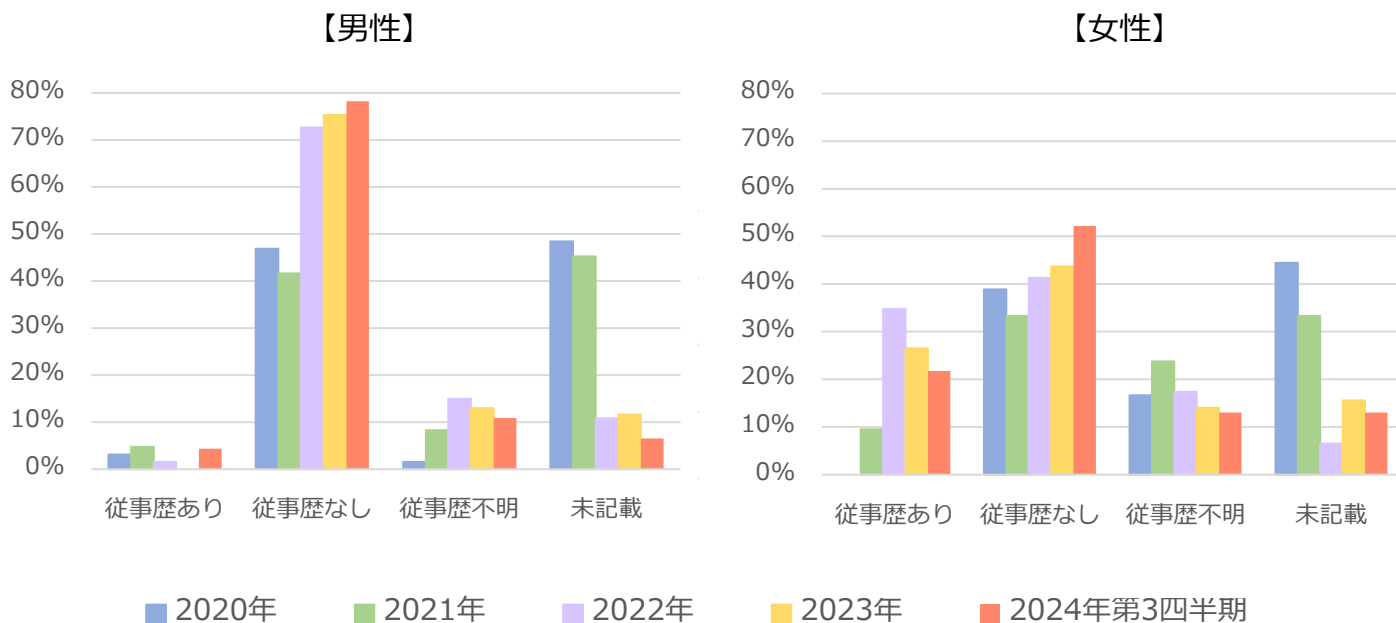
- 2024年第3四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業従事歴ありの男性は2例（4%）、女性は5例（22%）と女性に多かった

茨城県内における性風俗従事歴別 梅毒報告数（2024年第3四半期:7/1~9/29）



- 2020年以降の性風俗産業従事歴ありの割合は、いずれの年も女性のほうが高かった
- 2022年以降、性風俗産業従事歴なしの男性の割合は微増傾向にある
- 2024年第3四半期に報告のあった女性症例は、2023年と比較すると、従事歴ありの割合が減少（27%→22%）、なしの割合が増加（44%→52%）した

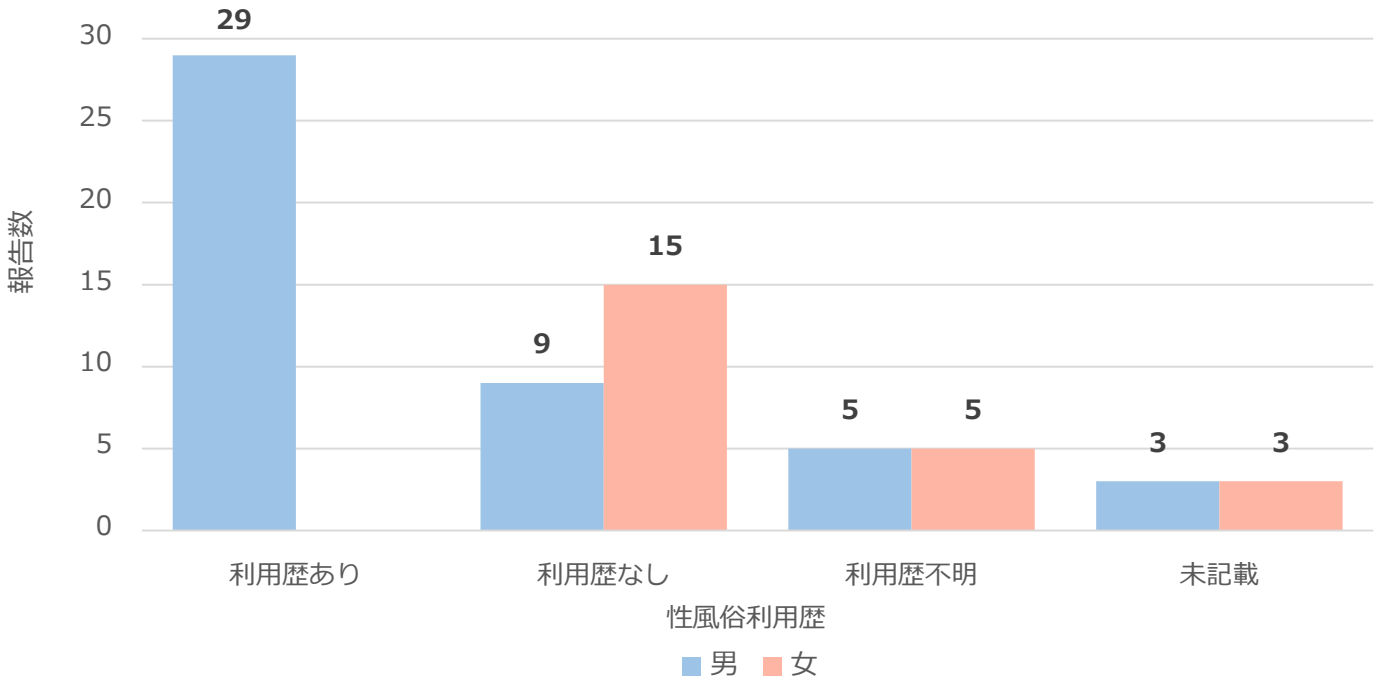
性風俗産業従事歴別 梅毒報告割合（2020年～2024年）



# 性風俗産業利用歴別 梅毒報告状況

- 2024年第3四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業利用歴ありの男性は29例（63%）、女性は0例と男性に多かった

茨城県内における性風俗利用歴別 梅毒報告数（2024年第3四半期:7/1~9/29）

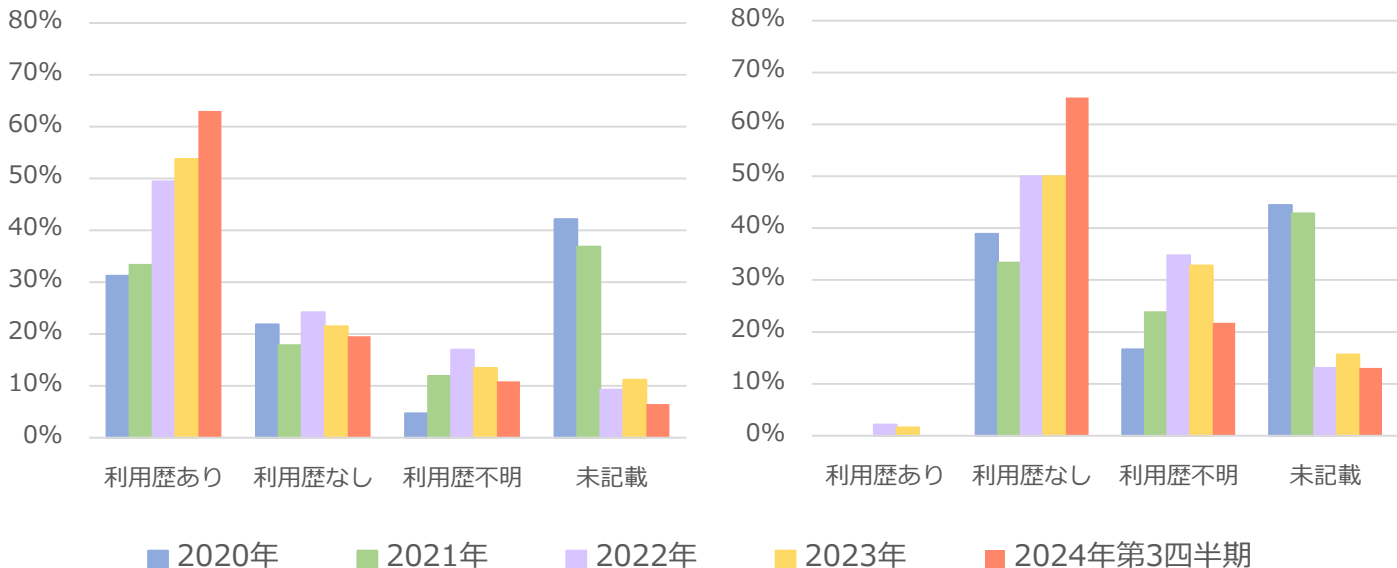


- 2020年以降の性風俗産業利用歴ありの割合は、いずれの年も男性のほうが高く、男性症例の利用歴ありの割合は年々増加している
- 利用歴ありの女性症例はほぼなく、2024年第3四半期に報告のあった女性症例は、2023年と比較すると利用歴なしの割合が増加（50%→65%）した

性風俗産業利用歴別 梅毒報告割合（2020年～2024年）

【男性】

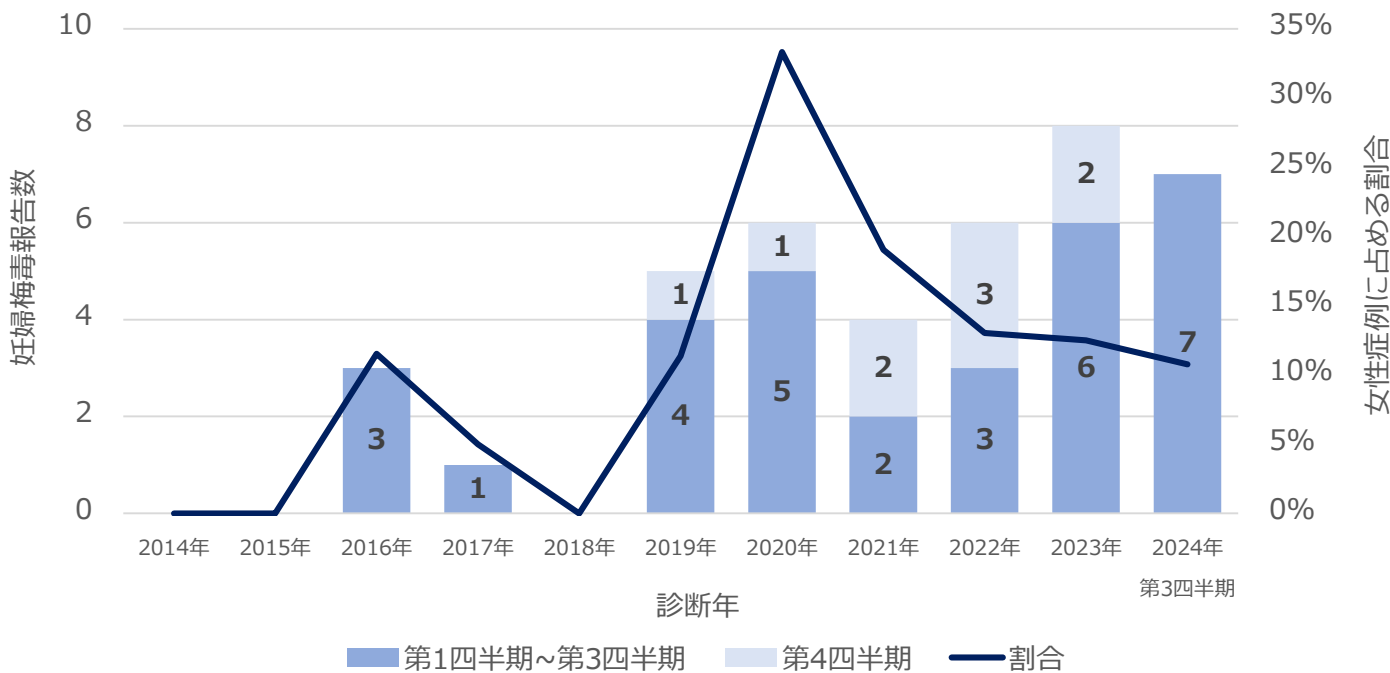
【女性】



# 妊婦梅毒

- 茨城県内における妊婦梅毒報告数は年間10例未満で推移しており、報告数は、2021年以降増加傾向にある
- 2024年第3四半期時点（1/1~9/29）の妊婦梅毒報告数は7例と、昨年同時期の報告数よりも多く、さらなる増加が懸念される

茨城県内における妊婦梅毒報告数（2014年~2024年第3四半期（~9/29））



- 2019年~2023年3月10日までは、感染症発生動向調査システムに登録された梅毒症例のうち「疾病共通備考欄」または「その他事項」の欄に「妊娠」の記載が含まれるものを抽出
- 2023年3月11日以降は、感染症発生動向調査システムに「妊娠の有無（女性のみ）」の欄が追加となったため、当該欄より抽出

# 先天梅毒

茨城県内における先天梅毒報告数（2014年~2024年第3四半期（~9/29））

